

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	National University of Singapore (国名: Singapore )	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts and Social Study/TF LEARN Programme	
留学期間	2014 年 8 月 ~ 2015 年 5 月	
学部/学府・年次	教育 学府/学府	3 年次~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 1 年間 )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため ②. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入) 必修科目を履修できなかったため。	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から) 2. 大学院進学( 学府/研究科 ) ③. その他(具体:未定 )	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
<b>1. 留学先大学について</b>		
授業(カリキュラム等)の概要について	授業は1module につき講義(lecture)と少セミ(tutorial)が含まれる。授業時間は約 90 分。tutorial については、隔週(奇数週と偶数週)で行われるものもあれば、毎週行われるものもあるので、シラバスで確認したほうがよい。 1000 番台の授業が基礎や導入のような 1, 2 年生向けの授業で、2000, 3000 と上がって行くと難易度が上がる。 Tutorial では、小レポートを課されたり、グループで発表したり、モジュールによって異なるので、シラバスで確認したほうが良い。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学面では特にサポートなどはない。しかし、シンガポール大学には国外からの留学生も数多く在籍するため、Language and Communication Center で、レポートの確認をしてもらったり、ディスカッションの練習などを受けられる。</li> <li>・精神面においては、学内にある Health Care Center でカウンセリングなどを行っている。私は利用したことはないが、定期的にその Center でイベントが行われたり、メールが定期的に来るなど、利用しやすい環境づくりを心がけているようにみえた。</li> <li>・住居では、University Town にはスーパー、ジム、プール、自習室など整備されており快適な生活を送ることができた。Utown には Cinammon/Tembus College, CAPT,Utown Residence の 4 つの寮がある。cinammon, tembus, capt には食堂があり朝晩の食事が用意されている。PGP と呼ばれる寮は Utown には無く、完全に個室でプライバシーは守られるが、学生同士の交流が薄いのが難点である。</li> </ul>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>シンガポールで国立の大学は 3 つしかなく、これらの大学に入学するためには日本よりも大変な競争に勝ち抜かねばならないので、シンガポール大学の学生は本当の意味でシンガポールの中でトップ層です。しかも、大学での成績が就職に直結するシステムなので、彼らは日本の大学生に比べると信じられないぐらい真剣に授業に取り組みます。キャンパスの廊下にはいたるところにベンチが設置されていて、いつでも勉強できる環境が整えられていました。Utown にある自習室やスターボックスは 24 時間空いているし、図書館も試験期間は 24 時間です。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>シンガポール大学には公共語が英語ということもあり、英語圏からの留学生がたくさんいました。シングリッシュが心配な人は英語圏からの留学生と積極的に交流するように心がけると、問題はないと思います。また、中国語を学習したい人にはぜひお勧めの国です。というのも、シンガポールのマジョリティは中華系なので、日頃から中国語を使う機会がたくさんあります。</p> <p>NUS は勉強をする上で素晴らしい環境が整備されていると感じました。日本の大学では教授の仕事は研究であって授業ではないというような風潮がありますが、NUSでは教授からの学生に教えたいという熱意を感じることができたし、教えるスキルも上だと思いました。</p> <p>FASS(Faculty of Arts and Social Science)での勉強は英語のスキルが大変重要だと実感しました。例えば、数学や物理、化学などは公式や数式など、自分が理解して問題を解けさえすればテストでよい点を取ることは比較的簡単だと思います。しかし、哲学、文学、社会学などいわゆる文系の学問は、まず論文を読んで理解する力、ディスカッションの際には相手の主張を理解し(リスニング)、かつそれに対して自分の意見を述べるスピーキング力、また期末試験では記述形式(ライティング)で評価されます。日本語ならもっと良い文章が書けるのに、もっとうまく伝えられるのに、と悔しい思いをすることが多かったです。そのため、留学を十二分に充実した意味のあるものにしたければ、留学前にいかに自分の英語力を総合的に上げていくかが勝負になると思います。</p>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Student Pass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>シンガポール国内の機関、シンガポール大学で登録した</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>シンガポールに入国したあとに、大学で登録できた。大学から送られてくる書類を準備しておくこと。書類の記入方法などの説明がメールで送られてくるので、それにしたがって行った。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1, 2 時間ぐらい</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>シンガポールに 6 ヶ月以上滞在する場合はエイズ検査が必要であるが、日本で行っても検査結果が英語でないので受け取って貰えなかった。NUS 内にある Health Care Center で日本よりも安くで出来たので、わざわざ日本でやる必要はないとおもう。</p>

<h3>3. 日常生活</h3>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>学業面ではシンガポール大学の学生はとにかく勉強していました。彼らの成績は相対評価で決まるので、人より良い成績を納めるためにはより勉強しなければならないのです。また、彼らは幼少期から競争に勝ち抜いてきたエリートなので、日本人よりも働き続けることに慣れていると感じました。現地の学生とは遊べる時間があまり無く、そのため他の国から来た留学生たちとよく一緒に遊んだりしました。留学生はアジア各国へよく旅行に行きます。</p> <p>シンガポールの物価は思っているよりも低くないです。全て輸入品なので、生活用品も高いし(シャンプーがおよそ900円ぐらい)、レストランで食べると1500円ぐらいが最低の値段です。ホーカーセンターでは安くて300円ぐらいでご飯が食べれるので、よく利用しました。</p>
<p>生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)</p>	<p>生活費計 70000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:60000 円、光熱水料: 込み 円、通学費: 0 円、食費: 10000 円、電話代: 500 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円 (徴収された費用の名目を具体的に:Vacation Stay は一ヶ月で別途 600SGD 支払った。)</p>
<p>日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)</p>	<p>PCについては必要不可欠。 変圧器は持っていかなかった。</p>
<p>これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス</p>	<p>シンガポールは安全な国として有名で、実際に治安は良いと思う。しかし、どこにいても油断はしないほうがいいと思う。友達にイベントで財布をすられた人がいる。また、マレーシアとの国境付近、ゲイラン地区(日本でいう歌舞伎町的な所)など外国人労働者がたくさんいるところでは一人では歩けないなと感じたので、油断しないほうがいいと思う。</p>

<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>私は新生銀行を利用した。新生銀行は ATM の引き出しの手数料が無料だったため。シンガポールは ATM がどこにでもあるので、困ることは無い。 また、クレジットカードもほとんどの場所で使えるので、便利だった。 私は DBS という現地の銀行口座を開設したが、海外銀行に日本から送金するのは手数料が高いので、現地銀行を作らなくても十分に生活できると思う。</p>
---	---

#### 4. 住居、生活環境

<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>University Town, NUS 22 College Avenue East Singapore 138595 Tel: (65) 6601 2128</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>2000USD(一学期間)月々4万5千円くらい。(部屋のタイプによって異なる) <a href="http://www.nus.edu.sg/osa/has/undergraduate/hostel-rates">http://www.nus.edu.sg/osa/has/undergraduate/hostel-rates</a></p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>私は Semester1 で参加したプログラムによって、自動的に Cinnamon collage に割り振られた。 普通は留学手続きの際に自分で希望を出せる。九大生は例年 PGP に割り振られることが多い。噂によると、学校ごとに寮が割り振られているらしい。Sem1で PGP だった日本人は Sem2 で Utown に引っ越しひとが多かった。とにかく担当部署にメールして交渉すれば空いている部屋に引っ越せる可能性もあるので、もし自分に合わない寮だったら、気後れせずにどんどんメール等で要求したほうが良い。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>推薦できる。Cinnamon Collage は University Scholarship Programme という NUS のなかでも優秀な人が集まる寮である。皆勉強で忙しく、イベントなどはあまり無い。私は留学生同士でつるんでいたのでも、それでも良いならお勧めしたい。現地の人と仲良くなりたいなら、あまりお勧めしない。 個人のプライバシーを重視するなら、PGP でもいいかも知れないが、私は出来るだけ UTown の寮に住む方が精神衛生上おすすめしたい。</p>
<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>最初は MRT(電車)を利用していたが、慣れればバスのほうが安いし便利であることに気付いた。 シンガポールには娯楽が少なく、ごはんを食べたりするのが一番の娯楽だった。幸いシンガポールは日本では食べられない様々な国の料理が食べられるので、ぜひローカルフードを楽しんで欲しい。</p>

#### 5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
NUSMODS.COM	nusmods.com	授業の時間割を作るときに最適で、超便利。シラバスもすべて載っているので、留学前からある程度取りたい授業を考えておいたほうが良いと思う。
MLE		授業のレジュメや連絡事項、宿題の提出などすべてこの MLE

SGBUS		<p>を通して行われる。携帯にアプリでダウンロードもでき、急な連絡など教えてくれる。</p> <p>シンガポールでバスを使うときに、ルートや時間など検索するアプリがたくさんあるので、使うと便利。</p>
-------	--	---

**6. その他の特記事項**

とにかく、積極的に自分から行動することが大事だと思います。

授業登録の際に、空きが無いからといって最初履修を断られましたが、教授や学部の事務局に直接メールしたり、話しを聞きに行ったりしたら、案外すんなり登録できたりしました。シンガポール人は結構適当な感じなので、とにかく一度自分から主張すれば要望が通ることもありました。